



発行:八幡市教育委員会 令和2年(2020年)3月10日
URL <http://www.city.yawata.kyoto.jp/>

第74号

おもな記事

- ◆第16回八幡市子ども会議市長提言 1面
- ◆教育施設改修工事の状況 2面
- ◆保存修理工事が完了した八角堂 2面
- ◆市民図書館にヤングアダルトコーナー
あります! 3面
- ◆寄贈 3面
- ◆各幼稚園(こども園)の取組 4面

「第16回八幡市子ども会議市長提言」 〜八幡プライド…自ら考え、行動し、発信する街!〜

「八幡市子ども会議」による市長提言を12月21日(土)八幡市社会福祉会館で開催しました。

「八幡市子ども会議」は、平成16年にはじまり、今年で16年目を迎えました。

八幡市の未来を担う子どもたちが、積極的になまちづくりに参画し自分の考えや意見をまとめ、市長に提言することを目的としています。

小中高校生の委員32名が4グループにわかれ、「八幡プライド…自ら考え、行動し、発信する街!」をテーマに、八幡市をよくするための話し合いや調査活動に取り組みました。

小学生グループA班は「八ふり〜八幡のお茶を使った『ふりかけ』をテーマに、八幡のお茶を使ったふりかけを給食に出したり市のイベントに出したり、商品化してほしいということ」を提言しました。

小学生グループB班は「バスで行く!やわたトリップ!」というテーマで、調査を通して、観光マップとバスの路線図が融合した地図を考えました。自分たちが考えたマップを駅

に設置すること、マップを印刷した「バスの一日乗車券」を発行することなどを提案しました。

中学生グループC班は「巡り〜YAWATAPIととも〜」をテーマにし、各中学校の生徒が八幡市の名産品と観光地とタピオカを組み合わせた「YAWATAPIスタンプラリー」を提案しました。

高校生グループD班は「八幡体操 みんなで身体も心も健康になろう」をテーマにして、健康推進はもちろん、地域コミュニティの活性化や体操を広めるアイドルなどを用いることを提言しました。

堀口市長は、各班の提言に対して、「今まで気付かなかったことを指摘いただいた。」「二つのコンテンツとして有意義な提案だなと思いました。」とコメントされました。

子ども会議がこれまでに提言した内容で、「ハチンバーク」ものしり博士検定」など実際に市の政策に採用されました。

16年間子ども会議に御協力いただいた立命館大学の稲葉教授

からは、「子ども会議では『学び方を学ぶ』という大変高いレベルの学びができています。このような学びは会議が長年にわたり蓄積されてきたことで可能となっていると感じました。」との講評をいただきました。

子ども会議委員からは、「八幡に住んでいても気が付かない地元の魅力などに気付くことができた。」などの感想が寄せられました。

(学校教育課)



教育施設

改修工事の状況

さくら小学校

廊下等改修工事

さくら小学校では、昨年の南校舎に引き続き、夏休みの期間を利用し、中校舎の1～3階の廊下、南校舎から中校舎の1～3階の渡り廊下及び階段の床を防滑性のある床に張り替える工事を行いました。これにより、滑りにくい床になり児童の安全性が向上しました。

(教育総務課)



保存修理工事が完了した八角堂

八角堂は、鎌倉時代はじめの建保年中(1213～1219)、順徳天皇の発願により、石清水八幡宮境内の西谷に建立されたと言われています。慶長12年(1607)に豊臣秀頼が再建し、その後、元禄11年(1698)、寛延元年(1748)にも修理が施されています。

明治のはじめ、政府の神仏分離政策によって、石清水八幡宮の境内から仏教にかかわる建物や道具が取り除かれることとなり、八角堂が失われることを惜しんだ正法寺(八幡清水井)の前住職が、現在地(八幡大芝)に移築しました。

平成24年(2012)に石清水八幡宮境内が国指定史跡となった際、八角堂の移築地もあわせて史跡となりました。平成26年(2014)から、国や府の協力をえて本格的な修理を開始し、平成31年(2019)3月、八角堂は明治期の美しい姿を取り戻しました。

建物内部については、公開の期間を限定しており、令和元年(2019)5月と11月に市内の文化財一斉公開に併せて行った内部の一般公開では、4日間で1,000名を超える方にご覧いただきました。

現在、八角堂は、建物の外側からであれば常時ご覧いただけます。

(文化財保護課)

所在地:八幡大芝33番地

アクセス:京阪石清水八幡宮駅または樟葉駅から京阪バスで「大芝・松花堂前」下車、北へ徒歩3分



保存修理工事が完了した八角堂



八角堂の内部

ヤングアダルトコーナーあります!

市民図書館の「ヤングアダルトコーナー」は、主に10代～20代を中心に、全世代に向けて「提案する」ために設置されたコーナーです。児童書から成人図書、様々な分野から本を集めています。流行や時事を取り入れるため、本が入れ替わるコーナーとなっています。

八幡市民図書館は2階成人室、男山市民図書館は児童書と成人図書の間設置されています。ヤングアダルトコーナーをきっかけに、京都府立京都八幡高等学校との交流が始まりました。

2019年度は、見学・交流会を7月に男山市民図書館、12月に八幡市民図書館で実施しました。また、各学期に1回、自動車文庫が高校に訪問し貸出をしています。

そして毎年恒例となった、高校生や司書が選んだ本を紹介する「京都八幡高等学校とのPOPフェス」も、京都八幡高等学校および八幡市民図書館、男山市民図書館で行います。

ぜひご来館いただき、高校生や司書のおすすめの本を手にとってみてください!

(八幡市民図書館)



(八幡市民図書館)



(男山市民図書館)



(京都府立京都八幡高等学校南キャンパスへの自動車文庫配車)



不登校など児童・生徒に関する教育相談

○教育相談(電話・面接相談)

平日(月曜日～金曜日)午前10時～午後5時
市内在住の幼・小・中学生とその保護者の相談に応じています。学校または教育支援センターに直接申し込み、ご予約下さい。

不登校児童・生徒支援

○カウンセラーによる教育相談や教育支援教室でサポートします。

※市内小中学校に在籍する児童・生徒が対象です。

○教育支援教室「さつき」

個別・小集団での活動や学習を通して、社会性を培うとともに、自立を促し、学校生活への適応や社会的自立を図ります。

【教育支援センター】

所在地:八幡市男山笹谷2

電話:075-982-3001

寄贈

○株式会社Living Color様 橋本クラブ様から
飛び出し坊やを3台

○株式会社Living Color様 光井建築株式会社様
から橋本小学校遊具の塗装工事

○株式会社Living Color様 光井建築株式会社様
ススカファイン株式会社様から

男山第三中学校バックネットブロック塀の塗装工事

ありがとうございました。

焼き芋 【八幡幼稚園】

八幡幼稚園では、栽培活動として年間を通して様々な野菜を育てています。タマネギ・ジャガイモ・キュウリ…等々、収穫した野菜は家庭に持ち帰ったりクッキングを体験したりしながらみんなで会食を楽しんでいます。秋には、畑に植えたサツマイモが大きく実り、みんなで『芋掘り』をしました。このところ、不作続きのサツマイモでしたが、今年は大きく実り、いろいろな形のお芋が出てくる度に、「やった!見て見て!」と、大興奮の子どもたちでした。ツルを使って冠を作ったり綱引きをしたりして遊んだ後は園庭で焼き芋大会!保護者の方やシルバー人材センターの方々からも木材をたくさん提供していただき、ホクホクの焼き芋をみんなで味わい大満足の焼き芋大会となりました。たき火の暖かさや煙の匂い、幼い頃の楽しい思い出が懐かしい匂いと共に呼び起こされる、そんな体験をこれからも重ねていきたいと思



令和元年度幼稚園・こども園の取組

老人クラブとの交流 【八幡第三幼稚園】

八幡第三幼稚園では、子どもたちが豊かな経験ができるよう地域のみなさんに見守られながら様々な交流活動を行っています。中でも、老人憩いの家「八寿園」の八幡市老人クラブ連合会の方々とは、七夕の飾りをつくったり、焼き芋大会や餅つきをしたり年間を通して交流しています。今年の敬老のつどいでは、フラダンスサークルの演技を見せていただいたあと、フラの振り付けの意味を教えてもらったり、子どもたちも曲に合わせてフラダンスと一緒に踊ったりしました。子どもたちからは、「ラーメン体操」を披露し、交流を楽しむことができました。ラーメン体操はとても好評で「また、今度もやってね」「楽しかったわ」と子どもたちに笑顔で話しかけてくださっていました。これからも温かい交流を通して、いろいろな人との触れ合う心地よさや楽しさを感じられるよう取り組んでいきたいと思



心をつないで～異年齢交流～ 【八幡第四幼稚園】

園全体が子どもたちを優しく包み、互いのよさを認め合える仲間づくりを進めて人とつながる力を育てようと、1年を通して異年齢グループ(なかよしタイム)の取組を進めています。秋には、異年齢で「台風の目」に挑戦!年長児が中心となり「こうやったら、うまいく!」「いいこと考えた!」と、小さい子たちをリードして奮闘したり、みんなの思いを聞きながら、どうしたらみんなが楽しめるかを考えたりして遊んでいました。足並みを合わせることに気付き、「めっちゃ、速い」と互いに笑顔になっていました。そして、運動会当日。「○○グループ、がんばれ」と応援の声が響き渡りました。勝ち負けがあり、悔しい思いも味わいました。これからも「みんなとすると楽しい!」「もっとやりたい!」と心を弾ませて遊び、人とのかかわりを深めてほしいです。



秋の自然散策 【橋本幼稚園】

橋本幼稚園では、例年、年長児が八幡さんに秋の自然散策に出かけています。今年は、リニューアルされたケーブルカー「あかね」に乗ることができ、大興奮の子どもたち。前方から下ってくるケーブルカー「こがね」が見えると、どのようにすれ違うのか、自分の考えを口々に話していました。展望台で双眼鏡をのぞき、「幼稚園が見える!」「京都タワーや!知ってる?」と、景色を見たり、たくさんの落ち葉を集めたりすることを楽しみました。一緒に散策に行っていた地域のの方に、「どうして秋になると葉が落ちるか知ってる?」「夏の間、たくさん水や栄養を取っていたけれど、寒くなると、水や栄養を取らなくなり(幹を守るために)、落ちていくんだよ。」と、豆知識も教えていただきました。12月の少し寒い日でしたが、最後の紅葉を楽しんだ1日でした。



大好きな砂遊び～うまく水が流れてくるかな～

【有都こども園】

今年の有都こども園は「一人一人が自ら考え、行動する力を育むには、どのような環境の構成が必要か～遊びこめる子どもをめざして～」を研究テーマとして取り組んできました。子どもの生活は遊びそのものであり、遊びながら学んでいます。子どもたちの大好きな砂遊びでは山や川をつくったり、お団子づくりをしたり、さら砂・お料理づくりなど、いろいろな形に変化することを楽しみます。その中でどうしたら固い山やお団子ができるのか、うまく水が流れるのか、試行錯誤を重ねていくことが大切です。川づくりでは、遊びが発展できるようにと大きなケースをたくさん用意をすると高く積んでそこにといを立てかけ、水を流す遊びが始まります。しかし、といが外れたり、水が漏れたりと思いつ通りになくなると、保育教諭や友達とどうしたらいいか考えていきます。そこで子どもたちの思いを聞き、繰り返し挑戦できるよう保育教諭は援助していくことが大切です。夢中になって遊べる環境、いろいろな気づきに共感してもらえる仲間、したい遊びが実現できる場所などが遊びこめるための大事な要因です。今後も、子どもの興味関心を探り、遊びこめるための環境の工夫をしていきたいと考えています。

